

名曲の花束

Sofia Solisten & Liya Petrova

ソフィア・ゾリストン&リヤ・ペトロヴァ

心に響く暖かな音色、世界最高峰のアンサンブルが紡ぐ極上のひととき

誰もが一度は聴いたことのあるクラシックの名曲たちを、ヨーロッパの一流の音楽家たちの演奏で…！ いつまでも色あせない素敵な名曲たちを束ねて、バラとヨーグルトの国ブルガリアから、私たちの心をそっと癒してくれる「名曲の花束」が届きます！

弦の国ブルガリアならではの緻密なアンサンブルを誇るソフィア・ゾリストン。その響きは、数多くの合奏団がひしめくヨーロッパの中でも一際美しく、世界最高峰のアンサンブルとして人々に感動を与え続けています。“人が話すことによって心を伝えるように、ソフィア・ゾリストンのメンバーは音楽で聴衆の方に語りかけるのです”と指揮者プラメン・デュロフが話すように、個々が強く主張するのではなく、音と音が響き合うことで醸しだされるソフィア・ゾリストンの音楽には、どこか懐かしさを感じさせるような優しさが満ち溢れています！

ソリストには、ブルガリアが誇る1990年生まれの美貌の天才ヴァイオリニスト=リヤ・ペトロヴァが登場。わずか6歳にしてプラメン・デュロフ指揮、ソフィア・ゾリストンと共に演したリヤが贈る甘く美しい名曲小品や圧倒の超絶技巧曲で息の合った溌剌とした演奏を聴かせてくれるでしょう！

秋深まるこの季節、心洗われるひとときを、たっぷりとお過ごしください！

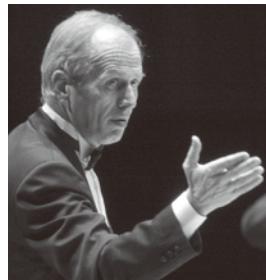
ソフィア・ゾリストン Sofia Solisten

2017年に創設55周年を迎える長い歴史と伝統を誇る、ブルガリアを代表する弦楽オーケストラ。1962年、作曲家でありブルガリア放送交響楽団の指揮者ヴァージル・カザンジェフを創始者として結成。ソフィア国立歌劇場管弦楽団のソリスト・クラスの精鋭を集めて組織され独立した団体として活動を始めた。レパートリーはバロックから現代まで600曲以上を誇り、ブルガリアの著名な作曲家によって書かれた100曲以上の初演も行っている。これまでヨーロッパをはじめ、ロシア、南北アメリカ、オーストラリア、中国、韓国、日本など広く国際的に活躍。ドイツ、フランス、スペイン、イタリアなどで数多くの国際音楽祭にも出演し、由緒ある音楽祭で栄誉ある賞に輝いている。1972年には、その功績に対して「ディミトロフ賞」(国民最高栄誉賞)が授与されている。録音も60タイトルを超え、ソニー・クラシカルBMG、コロムビア、ハルモニア・ムンディ、デノン、デッカ、SABA、ビクターなどからリリースされ、TVやラジオの出演や映画音楽の収録なども世界各地より依頼が相次いでいる。指揮者は1988年以降3代目としてプラメン・デュロフに引き継がれ、広く国際的に活躍している。2013年に次いで16度目の来日。



プラメン・デュロフ (指揮) Plamen Djouhoff

1949年生まれ。指揮者、作曲家。ソフィア音楽アカデミーでピアノをマラ・バルサモヴァ、作曲をマリン・ゴレミノフ、指揮法をコンスタンチン・イリエフ、ウィーン音楽アカデミーにおいてカール・エスターイヒャーに師事。ブルガリアのブレーベン交響楽団で指揮者として活動を開始し、1988年よりソフィア・ゾリストンの指揮者に就任。これまでに、ドイツ、ベルギー、イタリア、ハンガリー、ロシア、ポーランド、チェコ、スロヴァキア、メキシコ、キューバ、韓国、日本など30ヶ国以上で指揮をとっている。その功績に対し、ブルガリアの芸術、創造分野において名声あるナショナル・アワードを獲得している。現在ソフィア音楽アカデミーで後進の指導にもあたりブルガリア音楽協会会长も務めている。巧みな表現で名曲に新たな命を吹き込む指揮ぶりで多くのファンを持つ。



リヤ・ペトロヴァ (ヴァイオリン) Liya Petrova

1990年ブルガリアのソフィアで音楽家の一家に生まれる。4歳からヴァイオリンを始め、わずか6歳のときにプラメン・デュロフ指揮、ソフィア・ゾリストンと共に演をきっかけに、様々なオーケストラとの共演も果たす。8歳でユネスコのモーツアルト・メダルを授与され、ユネスコ最年少アーティストとなる。2001年、ロストック音楽・演劇大学に入学。ペトル・ムンテアヌに師事。ヨーロッパの様々な著名音楽祭に室内楽奏者として出演。2011年、アテネでの室内楽コンサートシリーズで、マルタ・アルゲリッチ、ルノー・カプソン、ユーリ・バシュメット、ミッシャ・マイスキーラと共演。2012年、フィリップ・ヘレヴェッヘ指揮ロイヤル・フランダース・フィルハーモニー管弦楽団のツアーに参加。2013年、ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリン・コンクールでメンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲 ハ短調作品64」を演奏し、第2位に輝く。2010年よりブリュッセルの王立エリザベス音楽院でオーギュスタン・デュメイに師事。使用楽器は王立エリザベス音楽院から貸与されている1690年製のマッテオ・ゴフリラー。2014年5月にオーギュスタン・デュメイ指揮、関西フィルハーモニー管弦楽団にソリストとして初来日を果たし、メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲を披露し、完璧なテクニックから生まれる超絶技巧に加え、ロマンティックな音色で聴衆の度肝を抜いた。今回のプラメン・デュロフ指揮、ソフィア・ゾリストンとの日本ツアーでは息の合った演奏とともに、ブルガリアが誇る新たな才能の開花にも期待が寄せられている。



たましんRISURUホール(立川市市民会館)

〒190-0022 東京都立川市錦町 3-3-20

【JR中央線・南武線・青梅線】立川駅南口徒歩13分 【多摩モノレール】立川南駅徒歩12分
【JR南武線西国立駅】徒歩7分 【立川バス】立川駅南口発 国立駅行「たましんRISURUホール」下車

■車椅子のままご鑑賞いただけるお席がございます

■託児サービスのご案内

有料の託児サービスがございます。公演日の10日前までにお電話でお申込みが必要です。
(定員になり次第締め切らせて頂きます)
[利用料] お子様1名(満1才~6才未就学児) ¥1,000

[お申し込み・お問い合わせ] たましんRISURUホール 042-526-1311

お得なムーサ友の会にご入会ください

年会費(入会金無料)¥1,000で1会員につき2枚まで割引料金でチケットをご購入いただけます。
お申し込みは、インターネットからご自身で簡単に行えます。
<http://www.tachikawa-chiikibunka.or.jp>

